

## 富山県・オレゴン州友好提携 20 周年記念事業の実施について

2012 年 1 月

富山県観光・地域振興局国際・日本海政策課

### 1 はじめに

富山県とオレゴン州は 1991 年 10 月 19 日に友好提携を結び、2011 年に 20 周年を迎えました。

オレゴン州は親日的で、自然環境や気候風土、州民性など本県と類似点が多く、県民が親しみを感じることができる州であるということから交流が始まりました。

友好提携以来、富山県とオレゴン州は職員や教員の相互派遣のほか、友好訪問団や実務協議団の派遣・受入など各種友好交流事業を行ってきました。しかしながら、近年では、両県州の交流事業は実質的に毎年 4 月頃に開催する「富山カップ日本語スピーチコンテスト」のみとなっていたことから、友好提携 20 周年を両県州の友好関係を再確認・アピールするとともに新たな交流の可能性を探る契機としたいと考え、10 月 31 日～11 月 7 日の友好訪問団の派遣に合わせ各種記念事業を実施しました。

### 2 富山県産品の PR 事業の実施

富山県・オレゴン州友好提携 20 周年記念レセプションは、11 月 2 日に、在ポートランド日本国総領事館との共催により総領事公邸において開催され、州の交流窓口である経済開発局のティム・マケイブ局長ほか州政府関係者、州から富山県への派遣職員 OB、州内在住の富山県出身者、現地の観光事業者や飲食業者など約 80 名の参加がありました。

レセプションでは、富山県とオレゴン州の食材を利用した越中料理の提供や富山の地酒 PR コーナーの設置、観光 DVD の上映などにより、富山県の食と観光の魅力をアピールしました。

メニューは、オレゴン産の鱒を使って再現した富山県名産「ます寿司」をはじめ、白えびのかきあげ、オレゴン産天然キノコの入った温かい氷見うどん等、富山県とオレゴン州の食材それぞれのよさが引き立つ内容としました。

参加者にはいずれの料理も大好評で、特にます寿司の再現は、富山から持ってきたものと間違えられるほどの完成度でした。その他、富山から持参した鯛のかまぼこ、白えびの酢漬け、ほたるいかの甘露煮など富山の味を堪能いただきました。



オレゴン産の鱒を使った「ます寿司」



富山県とオレゴン州の食材を利用した越中料理を楽しむ招待者たち

また、レセプションでは蔵元による富山の地酒 PR も行いました。オレゴン州は全米で6番目に日本料理店が多く、日本食の食通が多いことから富山の地酒を PR するには最適な土地柄です。富山の蔵元を代表して(株)榊田酒造店の榊田隆一郎社長が訪問団に同行し6種類の地酒を紹介しました。



蔵元も参加し富山県の地酒や越中料理、観光を PR

観光 PR コーナーでは八尾町の「おわら風の盆」と立山黒部アルペンルートの映像を流すとともに、立山黒部アルペンルート、黒部峡谷、世界遺産五箇山合掌造り集落や、富山県推奨とやまブランドのパンフレットを置き、レセプションでふるまわれた「ます寿司」や「白えび」をはじめとする富山のブランドを紹介しました。

### 3 「富山MANGA文庫」の開設

富山県は「ドラえもん」の作者である藤子不二雄などの著名な漫画家が生まれた土地であり、これらの漫画家の手によって、世界各国に愛され、日本を代表するにふさわしい優れた作品が多く生み出されています。また、近年では漫画はアニメと並んで日本発のポップカルチャーとして認識されており、アメリカにおいても高い人気を集めています。

このことから、オレゴン州の青少年の日本語学習意欲を刺激するとともに、オレゴン州における富山県や日本の文化の発信拠点としたいとの願いを込めて、県出身漫画家による漫画作品および富山県が舞台となっている漫画作品を富山県南砺市と交流のあるオレゴン州のマウントテーバー中学校に「とやまMANGA 文庫」として寄贈しました。



「MANGA 文庫」を囲むマウントテーバー中学校と南砺市中学生海外派遣団の生徒たち

### 4 おわりに

訪問団がオレゴン州で実施した一連の記念行事を通じ、食や観光など富山県の魅力を発信し、オレゴンの人々の富山県への関心を大いに高めることができました。また、漫画を通じた文化的・教育的な交流、食や観光をキーワードとする経済・観光交流など、今後の新たな交流の可能性を探る面においても意義のある訪問となりました。

こうした記念行事とは別に、オレゴン州政府の各部局と今後の両県州の交流事業のあり方について実質的な意見交換を行い、問題意識を共有できたことも今回の訪問の成果の一つとなりました。今後とも、オレゴン州政府と連携協力しながら友好交流の推進に取り組んでいきたいと考えています。